



碓東小通信 培根



安中市立碓東小学校

令和7年2月5日

NO.18

学校では、1月31日（金）の朝行事で「節分集会」を行いました。

2、30年前は学校の節分集会で豆まきなどもしましたが、最近ではアレルギーが心配されたり、目に当たる危険性があったりするため豆をまくシーンはない分、自分のクラスから追い出したい鬼（つまり、自分のクラスの課題）をみんなで話し合っ発表しあったり、節分にまつわる話をプレゼンテーションで紹介したりという内容で行いました。

自分たちのクラスから追い出したい鬼として、「おしゃべり鬼」「話を聞かない鬼」というのが、多くの学級から発表されました。逆に高学年は「意見を言わない鬼」などの鬼も発表され、子供たちは自分たちのことをちゃんと分かっているのだなと思いました。軽口はたたくけれど肝心なことには口をつぐむのは、私たち大人にもありがちなことです。人前で意見を言うのはなかなか勇気のあることですが、せめて誰かが大切な話をしているときには、黙って耳を傾けられる人間でいたいと思います。

ところで、子供たちはご家庭で豆まきをしたでしょうか？自分は子供のころ、大きな声で「鬼はあ外！福はあ内！」と言いながら思いっきり豆まきをするのがとても楽しかったのですが、節分の夜もそんな子供の声を聞かない今日この頃です。文化は移り変わっていくものだから、これも致し方ないのかなと思いながら、私はちょっとさみしくなりました。



※変更になることもあります。

行事予定

- | | |
|---|---|
| 5日（水）クラブ⑨ | 17日（月）あいさつ強化週間（～21日）
6校時カット
下校14：20 |
| 6日（木）4年社会科見学（中喜屋・少林山）
9：00～12：00 | 18日（火）1年生5校時カット
下校13：40 |
| 7日（金）読み聞かせ（5、6年）
3年社会科見学（高崎民族資料館）
8：50～12：10
SC勤務日 | 19日（水）表彰朝礼
SSW来校（午前）
4の2「高齢者との交流会」 |
| 10日（月）6校時カット 一斉下校14：20 | 21日（木）4の1「高齢者との交流会」 |
| 12日（水）委員会⑨ | 26日（水）全校朝礼
クラブ⑩ |
| 14日（金）読み聞かせ（1、2年）
授業参観（5校時）
学級懇談会（6校時～）
児童下校14：50 | 27日（木）6年生自転車安全な乗り方教室
28日（金）たてわり活動⑦ |

お知らせ

メールでも流しましたが、警察より校区内・校区近くで男性が女子生徒に不適切な声をかけたという情報提供がありました。また、イノシシも安中市内の多くで目撃されているようです。子供たちには不審者や野生動物に遭遇した時には「近づかず、逃げる」と伝えていますが、多くの目で見守ることが大切と考えます。保護者や地域の方でお時間があれば、子供の下校時等、散歩ついでに見守りをしていただくと助かります。無理のない範囲でのご協力をお願いいたします。

不審者避難訓練

登下校中の不審者も気になりますが、2001年に起きた大阪教育大学附属池田小学校事件のように、学校への不審者侵入もとても心配です。

本校では毎年3学期に不審者侵入を想定した避難訓練をしています。なるべく現実に近い訓練が必要と考え、今年度は「不審者が侵入し、職員に見つかって校舎内を逃走している」という想定で訓練しました。また、今回は咄嗟に的確に判断できるかどうかの訓練も必要と考え、不審者役の人の逃走経路は誰にも知らされずに職員による検索・制圧までを行いました。訓練の流れは以下の通りです。

- ①不審者侵入の発見者から職員室に連絡が入る
- ②全校に特別なチャイムを鳴らし、合言葉を使った放送で緊急避難指示を知らせる。(子供たちにはこの音になったときは、すぐにおしゃべりをやめそばにいる先生の指示をよく聞くように事前に話しておきました)
- ③放送を聞き、担任たちは子供の安全確保を最優先に、教室の扉を施錠し、机でバリケードをつくって、子供たちを教室に隠れさせる。

(上記のことと同時進行)職員室等にいた職員は、手分けをして通報、全校舎内を検索、犯人の制圧。警察への引き渡し。

- ④避難解除の放送→この後全員で体育館に移動して講話

講師をしてくださった警察関係の方からは、「とにかく警察が来るまで、誰にも危害が加わらないようにすることが大切です。」と指導されました。無理に危険を犯しての制圧はしなくてよいとも言われましたが、さすまたをどう使うべきなのかという指導もしていただきました。普段暴力など使わない私たちは、いざというとき相手が犯人と分かっている、凶器をもっている腕をさすまたの柄で思い切りたたいたりできないものなのだそうです。

また、訓練ではあっても、緊張感のある時間で、想定外の連絡が入るとどうすべきか迷うものだという実感しました。

どんな時でも児童全員・職員全員の安全を守らねばなりません。今後もこのような訓練を工夫しながら実施していきたいと思えます。



これからの教育に大切なもの

ある教育系雑誌の記事に、未来の学校はインターネット上の仮想空間を利用したオンライン教育・従来の学校での対面での教育・リアルな現場での課題解決型学習を組み合わせたものになるだろうと書かれていました。

本校でも、忙しい毎日ではありますが、できるだけ子供たちを学校外の施設に連れ出し、そこでの業務や展示を見せたり、学校外の人と交流させたり、体験活動をさせたりしています。

6年生 太陽光発電施設の見学

6年生は、東京ガスが大谷に所有管理するメガソーラー(太陽光発電所)を理科の学習の一環として見学し、地球温暖化や脱炭素対策としての企業の取り組みを学びながら、自分たちの未来の環境を守っていく大切さを実感しました。

私も行ってみましたが、大谷にディズニーランドの2倍以上の広さをもつメガソーラー施設があるとはこれまで知らず、あまりの広大な施設に驚愕しました。

子供たちもあれだけの規模の施設を目の当たりにすると、企業がどれほど未来のエネルギーについて真剣に取り組んでいるのかということがよくわかったのではないかと思います。百聞は一見にしかずです。



2年生 いちご園の見学

2年生は、生活科の学習で、学校近くの清水いちご園さんを見学しました。

実際にハウスの中に入れていただき、商品となるおいしいイチゴをたくさん育てるには、どんなことに気を付けて仕事をしているのかというお話を聞きました。

おいしいイチゴの試食もさせていただいたようで、これからはスーパーで見かけるイチゴにもこれまでとは違った興味をもつのではないかと思います。

明日は4年生がだるま工房へ、明後日は3年生が「高崎歴史民俗資料館」に見学に出かけます。